



コミュニティ・スクール通信

たから



秋季大運動会が行われました

今年度の初めには運動会は出来ないのではないかと心配しましたが、無事に練習してきた成果を発表することができました。児童・生徒代表挨拶では「コロナで大変なことが多かったけど、今できることを精一杯できました。」と立派な挨拶で成長した姿を見せてくれました。

感染症予防対策のため競技の見直しや器具の消毒などに加え、練習時の熱中症予防対策など、たくさんの対策を取らないといけない学校現場は本当に大変だと感じました。やっと学校に行って子どもたちの様子を見ることができた保護者さんも多かったと思います。これからも知恵を出し合って、新しい生活様式で子どもたちの頑張りを応援できたらなと思います。



三中：横断幕制作中です。さすが中学生、迫力があります。



外江小：全校から募集し、代表委員会で決定したスローガンです。



渡小：先生方もチームワークです。穴のあいたグラウンドを素早く補修。

あいさつ運動



各学校のあいさつ運動の日は、渡、外江地区の民生委員さんが正門に立って子どもたちに挨拶をしてくれます。渡地区民生委員の高梨眞美さんは、「〇〇くんおはよう！大きくなっちゃって分からなかった～」と名前を呼んで挨拶。以前公民館にお勤めだった高梨さんは、赤ちゃんの頃から知っている生徒も多いそうで、声をかけられた中学生も自然と笑顔になりました。地域の人と顔と名前が分かる関係はすぐにできることではありません。いいお手本を見せてもらった朝でした。顔見知りになることは、防犯にもつながります。挨拶はまず大人から心がけたいですね。

集団登校(外江小)

同じ子ども会の6年生が先頭と最後尾に並んで、下級生と一緒に毎朝登校してくれます。信号のない横断歩道も車が止まってくれたことを確認して渡りました。最後に渡る男の子が帽子をとって車の方にお礼を言っている写真です。しっかりとした姿、頼もしいです！そんな6年生の姿を下級生も見ているでしょうね。



文責：高梨 典子
(地域学校コーディネーター)